経済産業副大臣が来庁

町長と懇談する赤羽前経済産業副大臣と高木経済産業副大臣↑

9月10日（水）、同月に就任した高木（たかぎ） 陽介（ようすけ）経済産業副大臣（原子力災害現地対策本部長）と赤羽（あかば） 一嘉（かずよし）前経済産業副大臣が町長室を訪れ、遠藤町長と懇談しました。

町長は、赤羽前副大臣には1年8か月にわたる原子力災害現地対策本部長としての尽力に感謝し、高木副大臣には一層の支援を要望しました。

内閣総理大臣が広野町を視察

↑県立中高一貫校予定地で説明を受ける安倍首相ら

9月17日（水）、安倍（あべ） 晋三（しんぞう）内閣総理大臣が広野町を訪れ、復興の状況を視察しました。前回安倍首相が広野町を視察したのは、昨年7月1日です。

首相は、まず県立中高一貫校「ふたば未来学園高校」建設予定地へ赴き、遠藤町長から説明を受けました。そののち町内の水田を訪れ、昨年から作付け、出荷を再開したコメの生産状況について、町内の農家から説明を受けた後、稲刈り機に試乗しました。そして、広野産米のおにぎりを美味しそうにほおばりました。

首相には、望月（もちづき） 義夫（よしお）環境大臣や、同月11日にも広野町に訪れた竹下　亘復興大臣らが同行しました。

復興大臣が来庁

町長と懇談する竹下復興大臣と浜田復興副大臣↑

東日本大震災から3年半を迎えた9月11日（木）、同月に就任した竹下（たけした） 亘（わたる）復興大臣が広野町役場を訪れ、遠藤町長と懇談しました。町長は、竹下大臣に復興への継続支援を要請しました。浜田（はまだ） 昌良（まさよし）復興副大臣も同行しました。

「ホテルリーブス」で旅館業者の事業再開を支援

↑「ホテルリーブス」オープニングセレモニーの様子

広野町は、8月30日（土）に町内大字下北迫地内で広野町仮設宿泊施設「ホテルリーブス」のオープニングセレモニーを開催しました。

これは、中小企業基盤整備機構が施設を整備して広野町が譲渡を受けたもので、町が広野町内4業者を含む双葉郡の旅館業者が設立した株式会社に貸し付けて、事業再開を支援するものです。式典では、遠藤町長が事業者へ施設の引き渡しを行い、国会議員など多数の来賓とともに、テープカットを行いました。

地域医療に関心を持つ医学部学生が広野町を視察

広野町の復興状況を聞く医学部学生ら↑

8月27日（水）、相双地域医療体験研修（夏期）の被災地視察がありました。

この事業は福島県の主催事業で、地域医療に関心を持つ医学部学生が地域医療の現場を実際に見て、理解を深めることを狙いとしています。

福島県立医科大学や山形大学などの医学生が、広野町の復興状況を町幹部から聞いたあと、町の復興状況を視察しました。

広野中生徒と町長との懇談会

↑広野中生徒と町長との懇談会の様子

遠藤町長は、9月8日（月）、2学期から広野小学校の校舎で学ぶ広野中学校の生徒と懇談し、生徒からの要望を聞いたり、質問に答えたりしました。

生徒の1人が「これから技術・家庭の授業で中学校の敷地にある実習棟へ行き来するのに時間がかかります」と発言すると、浅野教育長は「技術・家庭の授業を昼休み後の5・6時間目に集中します」と返答し、町長は「移動するのに空いている町民バスを使えるようにします」と答えました。

広野駅東側開発事業で民間企業が進出

↑「ふくしまデジタル・コンテンツ・センタ」開設記念式典でテープカットする町長ら

8月28日（木）、エム・デー・ビー株式会社が町内に設立した「ふくしまデジタル・コンテンツ・センタ」開設記念式典が開催されました。遠藤町長もこの式典に出席し、「広野駅東側開発事業の民間企業進出第1号であり、広野町の復興だけでなく、双葉郡全体の復興のシンボルです」と祝辞を述べたあと、関係者とテープカットをしました。

政策研究大学院大学の学生が来庁

↑来庁した政策研究大学院大学の学生ら

8月31日（日）、政策研究大学院大学の学生が被災地学習のため広野町役場を訪れ、遠藤町長らと3時間にわたり懇談しました。